

# 小学校 5年

## 打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、 リズムアンサンブルをつくろう

高槻市立北大冠小学校

教科

音楽

単元名

打楽器でリズムアンサンブル

### 単元でつきたい力

#### (教科等でつきたい力)

- ・打楽器の音色の特徴や音の高低、速度の変化による感じ方の違いを理解する。
- ・いろいろな音の響きや組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどを理解する。

#### (学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・必要な知識や情報を得るために、読書を役立てようとする。
- ・学校図書館にある本の配架や分類の仕方を理解して、学校図書館を利用する。

### 本単元で育む主な情報活用能力

F-STEP2, G-STEP2  
P-STEP5

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



### 単元における学習の展開 (全4時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	○楽器の素材による特徴を知ろう。 ・楽器の特徴を確かめる。 ・打楽器の音色の特徴や音の高低や速度の変化による感じ方の違いを知る。
第2次 (2時間)	○音楽をつけることをイメージして、絵本から場面を選ぼう。(☆) (本時) ・音楽をつけたい絵本を選ぶ。 ・アプリ(ソングメーカー)の使い方を知る。 ・アプリを使って、選んだ場面に合う音楽になるように楽器やリズムを工夫しながらつくる。 ・打楽器の一つを選び、自分の作った曲に合わせて演奏する。
第3次 (1時間)	○つくった音楽を交流しよう。 ・友だちの音楽を聴いて、感じたことやアドバイスを伝え合う。

### 本時のねらい

- ・音楽をつけることをイメージして、絵本から場面を選ぶ。

### 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前時までの学習をふりかえる。 ・打楽器の音色の特徴を確認する。	・楽器の素材による特徴を押さえる。
展開 (25分)	2. さまざまな場面に合う音楽を予想する。 ・音楽を聴いて、悲しい・楽しい・勇ましい・リラックスなど、どの場面に合う音楽かを考える。 ・選んだ理由を話す。 ・アプリの使い方を理解する。 3. 場面に合った音楽をつけることをイメージして、絵本を選ぶ。 ・選んだ場面とその理由をワークシートに書く。	・音楽の要素と結びつけて話すように指導する。 ・アプリで入力するところを押さえる。  絵本からイラストを選ぶ。物語や2類の歴史等から選ぶ場合は、どんな場面か、何をしているところがよくわかるイラストを選ぶことを伝える。
まとめ (15分)	4. アプリを利用し、絵本の場面に合う音楽をつくる。 ・複数のリズムから作りたい音楽に合うものを選ぶ。 ・打楽器やリズムを変えて、場面に合う音楽になるようにする。	内容を読んで、主人公の気持ちや場面の様子などを理解してリズムを選ぶように声掛けをする。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・教科書には、示されたリズムや楽器を選択して音楽づくりに取り組む活動が紹介されている。自分のイメージした音楽になるように、リズムのつなげ方や重ね方を工夫するために、自分の好きな絵本の好きな場面を選んで取り組むことで、児童が音楽で表したいイメージをもちやすくなった。それを表現するために楽器とリズムを何度も変えて、自分のイメージする音楽をつくろうとする姿があり、学校図書館の本を活用することによって音の重なり合うひびきのおもしろさや美しさをより体感できる授業となった。
- ・絵本を活用することで一人一人が違う場面を自由に表現することにつながり、聞き手も友だちの音楽に興味をもち、対話を通して自分の学びをさらに深めることができた。



### 授業で使った本の例

- ・「はなさかじいさん」 ・「スミー」 レオ・レオ二作 谷川 俊太郎訳 好学社
- ・「せかいでいちばんつよい国」 デイビット・マッキー作 ながかわ ちひろ訳 光村教育図書
- ・「べんぎんたいそう」 齋藤 楨作 福音館書店

作成した音楽に合わせて打楽器を演奏